科目名	外国語							年度	2026
英語科目名	Foreign Language							学期	後期
学科・学年	ネットワークセキュリティ科　１年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田中	教員の実務経験		有	実務経験の職種		英会話講師		

【科目の目的】

将来、急に英語が必要になる場面があるかもしれない。どのような場面においても、英語の基本は中学の文法と単語・フレーズにある。本授業では、それらを復習しながら、より実践的な表現を練習しアウトプットができるようトレーニングをする。また、ビジネス基礎英語やIT業界で使う英語（社内ミーティングの場面や仕様書）も題材として扱い、ビジネス英語への準備を始める講座とする。

【科目の概要】

「英語の必要性はわかっているが、どうも最初の一歩が踏み出せない」「英語はちょっと・・・」と感じている方、逆に「この一年で英語の学習に弾みをつけたい」、「英語を使って将来仕事をしてみたい」という方、それぞれにとってプラスになる授業を行う。英語の語彙・フレーズ、英語話者のマインド、英語の基礎文法、読解、英語の発話練習、リスニングと、バランスよくインプットとアウトプットをする。頭だけではなく、心で感じる英会話を体感して欲しい。

【到達目標】

１．英語コミュニケーションのハードルを下げる（英語アレルギーを改善）
２．英語が得意な人は、本授業を英語力UPのためのステップにしビジネス基礎英語への基礎力をつける
３．英語と日本語の違いを楽しみつつ、両言語でのコミュニケーションスキルを高める

【授業の注意点】

テスト等提出物は必ず、授業内に提出のこと。ロールプレイや音読の時間が毎回ある。しっかりと参加すること。評価の対象となる。また、授業時数の４分の３以上出席しない場合は、再評価課題を提出を課す。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル３ 優れている		レベル２ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	英語コミュニケーションに対する心理的な抵抗感がなく、コミュニケーションに必要な文法を十分理解している。		英語コミュニケーションに対する心理的な抵抗感がなく、コミュニケーションに必要な文法を最低限理解している。		英語コミュニケーションに対する心理的な抵抗感があり、コミュニケーションに必要な文法を理解していない。
到達目標 B	ビジネス基礎英語への基礎力を十分に有しており、実際に活用することが出来る。		ビジネス基礎英語への基礎力を最低限有している。		ビジネス基礎英語への基礎力を有していない。
到達目標 C	英語と日本語の違いを楽しみつつ、両言語でのコミュニケーションスキルを高めることが出来ている。		英語と日本語の違いを理解し、両言語でのコミュニケーションを最低限行うことができる。		英語と日本語の違いを理解できておらず、両言語でのコミュニケーションスキルを有していない。
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

短期完成！すぐに使える英会話（超入門）　妻鳥千鶴子

【参考資料】

現場で困らない！ITエンジニアのための英語リーディング（西野竜太郎）　/
IT・デジタルワーカーのための英会話（長澤大輔 ジョン・レイナ―）等、適宜活用

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 70% 試験や課題を総合的に評価する
ロールプレイ及び音読への参加度・授業での発言・授業態度 30% ロールプレイへの参加度や授業態度を総合的に評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	外国語	年度	2026
英語表記	Foreign Language	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	英語は語順が命！ 英語の音変化を知る	1	英語の特徴	日本語との違いを意識	2,3	
			2	英語の音の特徴	英語の音変化を知り、リスニング力の向上に役立てる		
2	基本文法の復習と読解/英語の学習法	英語コミュニケーションにおける重要なポイントと学習法を知る	1	英作文	基本の英文が作れる	2,3	
			2	読解	英検３級レベルの英文理解ができる		
			3	英語の学習法	自分に合った学習法を見つける		
3	大人の英語＝助動詞の復習と活用①	Day1-2/ディクテーションにチャレンジする	1	助動詞	助動詞をうまく使えるようにする	2,3	
			2	聞き取り	文章（文字）と音を一致させることができる		
			3	英作文	本授業で扱う英文を自分で作れる		
4	大人の英語＝助動詞の復習と活用②	Day2-3/E-mailが読める	1	助動詞	助動詞をうまく使えるようにする	1,3,2,	
			2	Email読解	TOEIC読解パート基礎の英文が理解できる		
			3	英作文	本授業で扱う英文を自分で作れる		
5	反対・賛成/思う・考えること	Day4-5/読み物→自分の意見を言えるようにする	1	賛成・反対の表現	テキストの基本文を使い意見を言えるようにする	2,3	
			2	英作文	理由を添えて意見を言える		
6	意思のwill, be going toとの違い	Day6-7/自動詞と他動詞/文型と使える使役動詞の表現	1	思いを伝える表現	テキストの基本文を用い英作文できる	2,3	
			2	予定を告げる	ネイティブの感覚と各表現の使い分け		
				音読	音読の自己トレーニングができる		
7	命令文	Day8/TOEICの問題に挑戦	1	確認の表現	ビジネスでも使える丁寧な表現を知る	2,3	
			2	TOEICリスニング	基本的英文の聞き取りができる		
8	疑問文・疑問詞（発展：間接疑問文と付加疑問文）	Day9-10疑問文の作り方（復習）	1	英作文	基本の英文を作れるようにする	1,3,2,	
			2	単語について	単語の覚え方を知る		
9	日常会話の仮定法と感情表現	Day11/仮定法・英語の受け身表現の感覚	1	日常で使う仮定法	ビジネスでも使う仮定法表現を知る	2,3	
			2	感情表現と受動態	英語の受動態の感覚と感情表現を知る		
10	相槌の仕方/旅行英語①：空港	相槌の仕方を知る/助動詞表現の復習	1	基本の相槌	基本の相槌を知り使えるようにする	2,3	
			2	旅行英語について	旅行に必要なフレーズを練習		
11	旅行英語②：ショッピング・レストラン	比較表現の復習と買い物に必要な英語を練習	1	買い物や食事の英語	基本的英文を使い買い物や食事の注文ができる	1,3,2,	
			2	料理に関する英語	味や調理法に関する英語表現がわかる		
12	道案内の英語/ビジネス基礎英語①：チャット/社内メモなど	道案内の英語とビジネス英語（基礎）を実践し体感する	1	道案内の英語	道案内に必要な表現やマインドを知る	2,3	
			2	ビジネス基礎英語	チャット（TOEIC）を読み状況を把握できる		
13	世界の英語：英語ネイティブと非ネイティブ	世界の共通語としての英語を意識する	1	各地域の英語	各地域の英語の特徴を知る	2,3	
			2	インド英語	IT業界にかかわる英語として意識する		
			3	非ネイティブの英語	非ネイティブとしてのマインドセットを知る		
14	ビジネス基礎英語②	IT企業の社内会議や仕様書の英語を知る	1	仕様書	仕様書（基本）の単語や英文を読める	2,3	
			2	聞き取り	聞き取りを通して社内会議の英語に触れる		
			3	仕様書で使う助動詞	仕様書内の助動詞の意味理解をする		
15	前期のまとめとまとめテスト実施	まとめテスト	1	本講座のまとめ	質疑応答と総括	1,2	
			2	まとめテスト	まとめテストの実施		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等